

子どもの学びを支援する 学校経営事務をめざして

～地域とともに創造する学校カリキュ
ラム経営に参画する学校事務～

第34回福島県公立小中学校事務研究大会

2015年8月18日9：45～11：15

ビッグパレットふくしま

雲尾 周（新潟大学） kumoo@ed.niigata-u.ac.jp

当日44スライド【配布用22スライド】

本日の構成

はじめに ～ 観の違い

1. 学校組織マネジメント概論
2. 学校組織マネジメントと事務
3. カリキュラムを開く

おわりに ～ 学校も地域の一部

1. 学校組織マネジメント概論

ポイント【1】～【3】＋4点

- 組織としての能力を高める【1】
- 明確で達成可能な目標の設定（選択と集中）【2】
- 資源の開発・活用（内外資源の発掘、個人の力量の把握、開発・連携）【3】

↑ ↓ ↑ ↓ ↑

専門性 協働性 コミュニケーション ゆとり

ポイント【1】組織としての能力を高める

- 職能開発研修（個人の職務能力の向上）中心
[⇒**専門性**の向上]

個々人が、自ら指向する内容の研修を行う

→個人の力量が上がっても学校全体の力量が上がるとは限らない

職能開発の結果 \leq 個々の力量の総和

- 組織開発研修（組織能力の向上）へのシフト
組織全体での力量の向上を目指す

組織開発の結果 $>$ 個々の力量の総和

ポイント【2】 明確で達成可能な目標の設定

○ 向上目標から達成目標へ

- ニーズの把握 → ミッション設定
- 現状把握 → 理想との差が問題状況
- 資源の把握 → 差を埋める手立て

○ 選択と集中

- すべてのことを、どこまでも、はできない
- いつまでに、何を、どこまで、どうやって行うか

[⇒新潟県多忙化解消 A P ①校務分掌の精選・重点化]

参考：新潟県多忙化解消アクションプラン

「子どもと向き合う時間の確保」のために

- ①校務分掌の精選・重点化
- ②会議の精選
- ③教職員打ち合わせの精選
- ④授業案の簡素化
- ⑤会計・成績処理のIT化
- ⑥部活動の休止日は週1回以上
- ⑦勤務時間の管理
- ⑧ノー会議・ノー超勤ウィーク（デー）の実施
- ⑨職員室の心和む雰囲気づくり
- ⑩PDCAサイクルによる改善

ポイント【3】 資源の開発・活用

- ・ 学校外にある多様な資源の発見・開発
- ・ 学校内の個人の力量の把握・開発

資源の組み合わせ・連携 【一般解ではなく最適解】

☆ 改革志向：プラスをのぼす
⇒ 特色ある学校づくり

△ 改善志向：マイナスをなくす

学校の組織

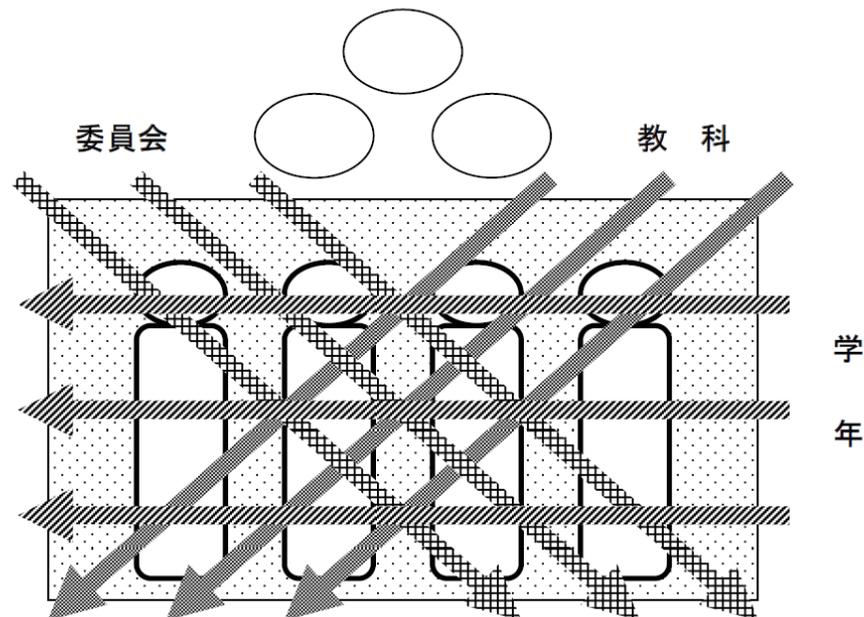
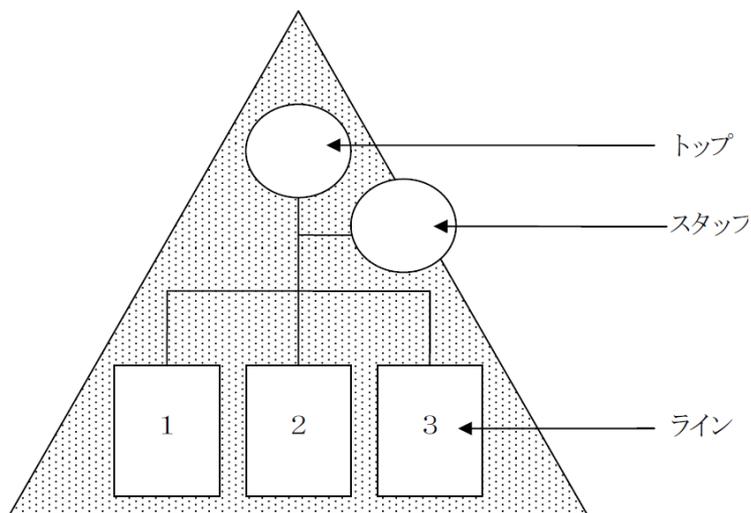
文部科学省の学校組織マネジメント研修

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kenshu/

(文部科学省 > 教育 > 教員の免許、採用、人事管理、研修等 > 教員研修)

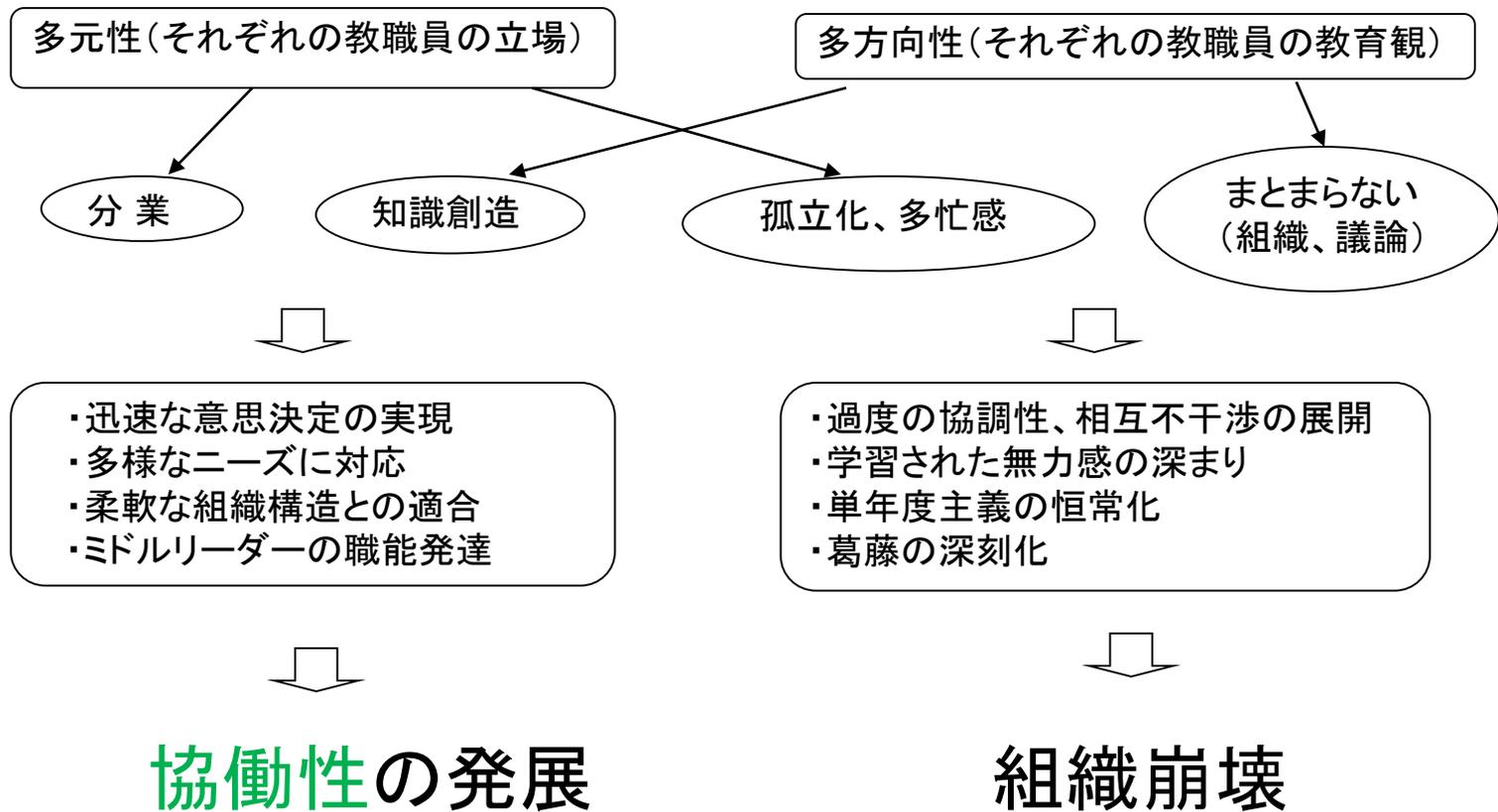
イ. マトリックス（格子状）組織

ア. ライン・スタッフ型組織



長 所	短 所
<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な意思決定 ・柔軟な組織運営 ・周囲の多様なニーズに対応 ・創造的な問題解決 ・中堅クラスの能力伸長 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職のマネジメント力次第 ・優れた対人能力必要 ・多忙感（頻繁な会合等） ・短期課題志向に陥りやすい ・若手クラスの育成停滞

学校の組織特性：マトリックス組織を学校の強みに



協働性 ← コミュニケーション ← ゆとり

〔⇒AP⑨職員室の心和む雰囲気づくり〕

ポイント【3】 資源の開発・活用

学校外にある多様な資源の発見・開発
学校内の個人の力量の把握・開発

学校と地域をつなぐ

- 学校からは
 - 渉外は教頭
 - 個別教員
 - 地域担当
 - 社会教育主事有資格者
 - 学校事務職員
- 地域からは
 - PTA・PTCA
 - 学校支援地域本部
 - 公民館主事

- つなぐために
 - 地域の諸機関の把握と連携
 - 全カリキュラムに地域住民が入れる準備
 - 自分自身も地域へ貢献する
- 三方よし：子どもによし・地域によし・学校によし

学校週5日制の転換

1992年9月より 毎月第2土曜日が休業日に
1995年4月より 毎月第2・第4土曜日が休業日に

1998年 「生きる力」学習指導要領告示

1999年度

|

移行措置

2001年度

2002年4月より 完全学校週5日制・新指導要領

...土曜授業・土曜学習の拡大

- **平成25年2月26日 14時発表**：大阪市では、各小・中学校が学校の特色や実態に応じて、土曜日等の休日を効果的に活用し、家庭や地域との連携のもと各学校での開かれた教育活動の充実を図ることができるようになるため、「土曜授業」を実施します。

<http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryō/kyoiku/0000208219.html>

1. 「土曜授業」について(1)対象：大阪市立小学校、中学校(2)実施時期：平成25年4月～

(3) 実施概要

①「土曜授業」の定義を、「児童生徒に代休日を設定せず、土曜日等の休日に行われる教育課程に位置付けられた授業または学校行事のこと」と定めます。

②毎週実施するのではなく、学校長が当該学校の課題、地域の状況を踏まえて実施日や実施回数を決めます。

③開かれた学校づくりの一環として保護者・地域のみなさまに公開を原則とし、次のような内容とします。

- ・ 学力向上アクションプランに示された、学力の向上を図る授業
- ・ 本市の「研究支援事業」や教育施策に係る研究授業
- ・ ゲストティーチャー（保護者や地域の人材など）を招聘した授業
- ・ 道徳の公開授業
- ・ 学校・家庭・地域の連携のもと行う防災教育や安全教育
- ・ 学校・家庭・地域の連携のもと行う周年行事や学校行事
- ・ 小中連携・小学校間の連携に関わる取組み
- ・ スポーツ大会などの体力向上のための取組みや文化的な活動
- ・ その他「土曜授業」として実施するのにふさわしいと学校長が判断する取組み

新潟県地域家庭教育推進協議会 「家庭教育支援ガイドブック」

ファミリー・フレンド
リー企業（厚生労働省）
ハッピー・パートナー企
業
（新潟県）

⇒QOLの向上は企業に
利益

[http://www.pref.niigata.lg.jp/
syogaigakushu/I356789480
279.html](http://www.pref.niigata.lg.jp/syogaigakushu/I356789480279.html)

ほめることの効果

どんなふうに
ほめたらいいのかしら
悪いところが
目についちゃって..



こんなふうに思うことはありませんか？

ほめる内容は**当たり前のこと**でいいのです。

- ① 今できていることを認めてほめる。
- ② その子自身の過去と比べて、伸びたことを見つけてほめる。

すっぴんしたこと
でいいのね。

今日のあいせつは
元気いいね。

いつもより早く
起きられたね。



大事なことはその子自身を認めてほめることです。子どもの
「すごい」「さすが」「すばらしい」をたくさん見つけて、言葉で伝えましょう。

ほめられることによって心に変化が生まれます。

うれしい!

また、
がんばろう!

もっと
できるかも!

- ▶ 気持ちがポジティブになる。
- ▶ 前向きに物事に取り組める。
- ▶ 「挑戦しよう」という意欲がもてる。
- ▶ 自己有用感が育つ。
- ▶ 自分に自信がもてる。
- ▶ 学習が身に付きやすくなる。

自信を持って物事に取り組める自立した子に。

3. カリキュラムを開く

演習 2

学校には学校の事情が . . .

地域には地域の事情が . . .

地域とつながりにくい

「阻害要因」をあげてみましょう

-
-
-
-
-
-

学校とつながりにくい

「阻害要因」をあげてみましょう

-
-
-
-
-
-

演習 3 学校への外部資源導入表の作成

- ① 「学年等」に学校全体、1年生、2年生...などを書く。
- ② 年間の外部資源受入授業・行事等を書く。
- ③ 実際に入っている人について保護者○、地域住民◇、専門家☆...など記号や実名・肩書などを書く（人以外も工夫して書く）。
- ④ 今後進めたい受入について赤で書きこむ。

≡学校図書館の本に対する教育課程上のリクエスト

今は大変でも後が楽。教育の質も向上する
【イニシャルコストとランニングコスト】

演習 4 中学校区カレンダーの作成

- ①-1 区域内の学校をあげる (Aとする。とりまとめ校に下線)
A 1 A 2 A 3 A 4
- ①-2 区域内の関連機関・団体をあげる (Bとする。とりまとめ機関・団体に下線) B 1 B 2 B 3 B 4
B 5 B 6
- ①-3 区域外の関連機関・団体をあげる (Cとする)
C 1 C 2 C 3 C 4
- ②-1 A B Cのカレンダーに書き込む実数を考慮しながら形式を決める (ラフスケッチ)
A校ごとの欄とB・Cまとめて? A・B・Cそれぞれでまとめて?
全部まとめて?
- ②-2 カレンダーに盛り込む要素を決める
地図 (地域、A、B、避難所? 観光地? その他)
電話番号 (どこの?) 住所 (どこの?) その他
- ②-3 カレンダーの配布先 (と配布数) ・予算額と獲得方法 (仕様もそれにあわせて)
- (③ 作成スケジュールを考える)

*すでに作成している場合は、その実際をあげ、改善策を考える。

幼稚園、高校、特別支援学校等は状況に応じて工夫する。

これからの学校規模は？

市区町村と小・中学校規模の変化（各年5月1日現在文部科学省学校基本調査、総務省広域行政・市町村合併より作成）

年度	2000年度	2005年度	2010年度
市区町村数（指数）	3,252（100）	2,400（73.8）	1,750（53.8）
平均校数：小／中	7.4／3.4	9.6／4.6	12.6／6.2
小学校数（指数）	24,106（100）	23,123（95.9）	22,000（91.3）
1校平均人数：児童／教員	305.6／16.9	311.3／18.0	317.9／19.1
児童数（指数）	7,366,079（100）	7,197,458（97.7）	6,993,376（94.9）
本務教員数（指数）	407,598（100）	416,833（102.3）	419,776（103.0）
単式学級数（指数）	246,539（100）	245,910（99.7）	241,279（97.9）
中学校数（指数）	11,209（100）	11,035（98.4）	10,815（96.5）
1校平均人数：生徒／教員	366.1／23.0	328.6／22.5	329.0／23.2
生徒数（指数）	4,103,717（100）	3,626,415（88.4）	3,558,166（86.7）
本務教員数（指数）	257,605（100）	248,694（96.5）	250,899（97.4）
単式学級数（指数）	118,162（100）	107,649（91.1）	107,225（90.7）

学校外からの要請には . . .

- A) コミュニティ・スクールの進展と学校支援地域本部（小中一貫教育の拡大を含む中学校区でのまとめり）
- B) 家庭教育支援（社会全体で子どもをはぐくむ運動、生涯学習社会の実現）
- C) 地域防災の拠点
- D) 土曜授業の拡大
- E) 施設の複合化・多機能化
 - ⇒ 地域の拠点としての学校
地域とともにある学校づくり

避難所になる学校

学校の安全計画（緊急時連絡先、避難方針、避難場所、引渡し方法など）が家庭に周知されていること

- 各家庭ではそれを踏まえて、家族間で約束をしておくこと。

→津波てんでんこ

備蓄の共同化

- 確保（何が・どれだけ必要か）
- 保管（災害時に使える場所、劣化しにくい）
- 更新（品によって違う保管期限）（性能維持、動作確認）

⇒学校だけでなく、
家庭・地域も

3日分程度。

日常使いの保存食のサイクル保存

カリキュラム・マネジメント

1) ゼロからの出発ではない

PDS PDCA サイクルの始まりは？

2) 改善におわりなし

3) 何を変えるのか

組織

時間

学期

環境

子どもの集団

...

どんな地域へ？

学校づくりは地域づくり

家庭教育：この家庭に育ったことに感謝し
喜びを感じる

学校教育：この学校でのまなびと思い出を
基に活躍する

地域教育：この地域で育まれたことに愛着
と誇りを持つ

社会教育・生涯学習：この社会で学んでい
ることの意味を実感する

→あなたの住みたい「まちづくり」は？

再見